

## 〈三郷学の視点②6〉

### 三郷学の視点

#### 11. 三郷学と価値創出(ブランディング)

市では、三郷の資源(人・自然・地勢・産業・交通・歴史・教育・文化など)を改めて確認し、それらの資源に学び、三郷を取り巻く社会環境の変化を見据えつつ、三郷の歩むべき方向性を常に考え、行動するという三郷学に取り組んでいます。

この三郷学の取り組みは、市だけでなく、地域のさまざまな政策主体(市民・団体・企業など)によっても独自に、あ

るいは連携して進められることが期待されています。

また、三郷の資源を活かすという三郷学の考えは、三郷のよいところ(特長)と三郷の独自性(オリジナリティ)の重なる部分に焦点をあてることで、三郷の価値創出(ブランディング)をめざすことにもつながります。この価値創出は、これからの三郷のまちづくり戦略に大きく関わるものです。

みなさんも、三郷の特長と三郷のオリジナリティを考えてみましょう。

